

韓国環境部プレスリリース 2019年10月29日付

以下、機械翻訳などによる仮訳

## 京畿道漣川郡の死亡野生いのししからアフリカ豚コレラウイルス検出 (野生いのしし 16 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?boardMasterId=1&boardId=1069840&menuId=286>

### 【本文】

環境部所属の国立環境科学院（院長チャン・ユンソク）は京畿道漣川郡漣川邑瓦草里 361 番地で発見されたイノシシへい死体からアフリカ豚コレラウイルスが検出されたと 10 月 29 日、明らかにした。

10 月 27 日午前 8 時 30 分頃、住民が田と山の境界地域でイノシシへい死体を発見し、漣川郡に申告した。漣川郡は初動措置と試料採取を行い、野生イノシシアフリカ豚コレラ標準行動指針に従って遺体を埋めた後、試料を国立環境科学院に移送した。

※試料採取及びへい死体埋却後の作業者の消毒、周辺防疫作業の実施

国立環境科学院は、10 月 28 日午後 11 時頃、アフリカ豚コレラウイルスと診断して結果を関係機関に通報した。現在まで、全国的に確認された野生イノシシのアフリカ豚コレラは 16 件に増えた。

チョン・ウォンファ国立環境科学院・生物安全研究チーム長は「この 20 日に陽性と確認された地点（瓦草里 615）とは約 900m、民間人統制線では約 3.5km 南に位置する」として「設置中の 2 次フェンスの中には属するが、1 次フェンスを少しばかり出ていることから速やかに 1 次フェンスを追加設置する」と述べた。

(以上)